

病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果(静岡県)】

○報告対象となる静岡県内の病院150施設、有床診療所192施設のうち、報告があった病院150施設(100.0%)、有床診療所189施設(98.4%)を対象として集計した結果

○平成28年度の報告においては、「定性的」な基準に基づき、各医療機関が自主的に選択した医療機能を報告したものであることから、同じ医療機能を有していても、各医療機関の捉え方によっては同様の報告となっていない場合がある。

《2016(平成28)年7月1日時点の病床数(許可病床)》 → 《6年が経過した日(2022(平成34)年)における病床数(許可病床)》

二次医療圏名	機能区分	一般	療養	計	構成比	一般	療養	計	構成比
静岡県全体	高度急性期	4,917	0	4,917	15.1%	5,129	0	5,129	15.6%
	急性期	13,575	15	13,590	41.9%	13,465	32	13,497	41.1%
	回復期	1,876	1,928	3,804	11.7%	2,190	2,112	4,302	13.1%
	慢性期	1,575	8,583	10,158	31.3%	1,570	8,358	9,928	30.2%
	合計	21,943	10,526	32,469		22,354	10,502	32,856	
01 賀茂	高度急性期	8	0	8	1.1%	8	0	8	1.0%
	急性期	256	0	256	34.9%	354	0	354	43.2%
	回復期	137	41	178	24.3%	168	41	209	25.5%
	慢性期	92	200	292	39.8%	48	200	248	30.3%
	小計	493	241	734		578	241	819	
02 熱海伊東	高度急性期	68	0	68	5.5%	68	0	68	5.6%
	急性期	586	0	586	47.6%	536	0	536	43.9%
	回復期	109	31	140	11.4%	109	63	172	14.1%
	慢性期	92	346	438	35.6%	132	314	446	36.5%
	小計	855	377	1,232		845	377	1,222	
03 駿東田方	高度急性期	755	0	755	11.2%	755	0	755	11.1%
	急性期	3,473	0	3,473	51.3%	3,326	0	3,326	48.9%
	回復期	268	401	669	9.9%	353	401	754	11.1%
	慢性期	276	1,596	1,872	27.7%	336	1,631	1,967	28.9%
	小計	4,772	1,997	6,769		4,770	2,032	6,802	
04 富士	高度急性期	70	0	70	2.4%	112	0	112	4.2%
	急性期	1,546	0	1,546	53.9%	1,493	0	1,493	55.7%
	回復期	145	237	382	13.3%	145	286	431	16.1%
	慢性期	182	688	870	30.3%	52	591	643	24.0%
	小計	1,943	925	2,868		1,802	877	2,679	
05 静岡	高度急性期	1,477	0	1,477	22.7%	1,554	0	1,554	23.1%
	急性期	2,211	0	2,211	34.0%	2,310	0	2,310	34.4%
	回復期	372	371	743	11.4%	372	421	793	11.8%
	慢性期	461	1,613	2,074	31.9%	461	1,604	2,065	30.7%
	小計	4,521	1,984	6,505		4,697	2,025	6,722	
06 志太榛原	高度急性期	251	0	251	7.3%	251	0	251	7.1%
	急性期	1,801	3	1,804	52.7%	1,833	0	1,833	52.1%
	回復期	274	125	399	11.6%	337	128	465	13.2%
	慢性期	1	970	971	28.4%	51	918	969	27.5%
	小計	2,327	1,098	3,425		2,472	1,046	3,518	
07 中東遠	高度急性期	294	0	294	9.5%	387	0	387	12.5%
	急性期	1,210	0	1,210	39.0%	1,073	0	1,073	34.6%
	回復期	251	206	457	14.7%	295	256	551	17.8%
	慢性期	2	1,138	1,140	36.8%	2	1,088	1,090	35.1%
	小計	1,757	1,344	3,101		1,757	1,344	3,101	
08 西部	高度急性期	1,994	0	1,994	25.4%	1,994	0	1,994	24.9%
	急性期	2,492	12	2,504	32.0%	2,540	32	2,572	32.2%
	回復期	320	516	836	10.7%	411	516	927	11.6%
	慢性期	469	2,032	2,501	31.9%	488	2,012	2,500	31.3%
	小計	5,275	2,560	7,835		5,433	2,560	7,993	

集計対象 33,614床

※医療機能について未選択の1,145床は、上表には含めていない。

※医療機能について未選択の758床は、上表には含めていない。

許可病床ベース

病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果(静岡県)】

○報告対象となる静岡県内の病院150施設、有床診療所192施設のうち、報告があった病院150施設(100.0%)、有床診療所189施設(98.4%)を対象として集計した結果

○平成28年度の報告においては、「定性的」な基準に基づき、各医療機関が自主的に選択した医療機能を報告したものであることから、同じ医療機能を有していても、各医療機関の捉え方によっては同様の報告となっていない場合がある。

【2016(平成28)年7月1日時点の病床数(許可病床)】

医療圏名 医療機能		県全体	賀茂	熱海伊東	駿東田方	富士	静岡	志太榛原	中東遠	西部
全体	高度急性期	4,917床 15.1%	8床 1.1%	68床 5.5%	755床 11.2%	70床 2.4%	1,477床 22.7%	251床 7.3%	294床 9.5%	1,994床 25.4%
	急性期	13,590床 41.9%	256床 34.9%	586床 47.6%	3,473床 51.3%	1,546床 53.9%	2,211床 34.0%	1,804床 52.7%	1,210床 39.0%	2,504床 32.0%
	回復期	3,804床 37.4%	178床 61.0%	140床 32.0%	669床 35.7%	382床 43.9%	743床 35.8%	399床 41.1%	457床 40.1%	836床 33.4%
	慢性期	10,158床 31.3%	292床 39.8%	438床 35.6%	1,872床 27.7%	870床 30.3%	2,074床 31.9%	971床 28.4%	1,140床 36.8%	2,501床 31.9%
	合計	32,469床	734床	1,232床	6,769床	2,868床	6,505床	3,425床	3,101床	7,835床
	一般病床	高度急性期	4,917床	8床	68床	755床	70床	1,477床	251床	294床
	急性期	13,575床	256床	586床	3,473床	1,546床	2,211床	1,801床	1,210床	2,492床
	回復期	1,876床	137床	109床	268床	145床	372床	274床	251床	320床
	慢性期	1,575床	92床	92床	276床	182床	461床	1床	2床	469床
	小計	21,943床	493床	855床	4,772床	1,943床	4,521床	2,327床	1,757床	5,275床
療養病床	高度急性期	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床
	急性期	15床	0床	0床	0床	0床	0床	3床	0床	12床
	回復期	1,928床	41床	31床	401床	237床	371床	125床	206床	516床
	慢性期	8,583床	200床	346床	1,596床	688床	1,613床	970床	1,138床	2,032床
	小計	10,526床	241床	377床	1,997床	925床	1,984床	1,098床	1,344床	2,560床

※集計対象33,614床のうち、医療機能について未選択の1,145床は、上表には含めていない。



【6年が経過した日(2022(平成34)年)における病床数(許可病床)】

医療圏名 医療機能		県全体	賀茂	熱海伊東	駿東田方	富士	静岡	志太榛原	中東遠	西部
全体	高度急性期	5,129床 15.6%	8床 1.0%	68床 5.6%	755床 11.1%	112床 4.2%	1,554床 23.1%	251床 7.1%	387床 12.5%	1,994床 24.9%
	急性期	13,497床 41.1%	354床 43.2%	536床 43.9%	3,326床 48.9%	1,493床 55.7%	2,310床 34.4%	1,833床 52.1%	1,073床 34.6%	2,572床 32.2%
	回復期	4,302床 13.1%	209床 25.5%	172床 14.1%	754床 11.1%	431床 16.1%	793床 11.8%	465床 13.2%	551床 17.8%	927床 11.6%
	慢性期	9,928床 30.2%	248床 30.3%	446床 36.5%	1,967床 28.9%	643床 24.0%	2,065床 30.7%	969床 27.5%	1,090床 35.1%	2,500床 31.3%
	合計	32,856床	819床	1,222床	6,802床	2,679床	6,722床	3,518床	3,101床	7,993床
	一般病床	高度急性期	5,129床	8床	68床	755床	112床	1,554床	251床	387床
	急性期	13,465床	354床	536床	3,326床	1,493床	2,310床	1,833床	1,073床	2,540床
	回復期	2,190床	168床	109床	353床	145床	372床	337床	295床	411床
	慢性期	1,570床	48床	132床	336床	52床	461床	51床	2床	488床
	小計	22,354床	578床	845床	4,770床	1,802床	4,697床	2,472床	1,757床	5,433床
療養病床	高度急性期	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床
	急性期	32床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	32床
	回復期	2,112床	41床	63床	401床	286床	421床	128床	256床	516床
	慢性期	8,358床	200床	314床	1,631床	591床	1,604床	918床	1,088床	2,012床
	小計	10,502床	241床	377床	2,032床	877床	2,025床	1,046床	1,344床	2,560床

※集計対象33,614床のうち、医療機能について未選択の758床は、上表には含めていない。

許可病床ベース

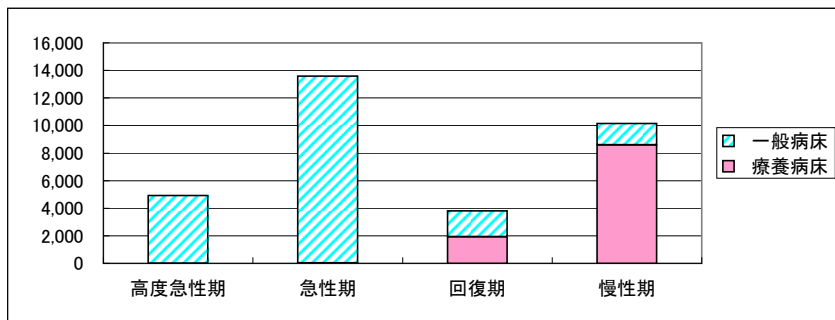
病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果（静岡県）】

○以下の集計は、報告があった医療機関のうち、各集計項目に不備がなかった医療機関を対象として実施。

- ・報告対象となる342施設（病院150施設、有床診療所192施設）のうち、339施設（99.1%）（病院150施設（100.0%）、有床診療所189施設（98.4%））が報告済み。
- ・報告対象施設における許可病床数合計は、34,377床（病院32,082床、診療所2,295床、平成28年4月1日現在）
- ・平成28年度の報告においては、「定性的」な基準に基づき、各医療機関が自主的に選択した医療機能を報告したものであることから、同じ医療機能を有していても、各医療機関の捉え方によっては同様の報告となっていない場合がある。
- ・6年後、急性期、慢性期の構成比が減少し、高度急性期、回復期の構成比が増加

※報告のあった339施設（病院150施設、有床診療所189施設）の許可病床33,614床について集計したもの

《2016（平成28）年7月1日時点の医療機能別の病床数（許可病床）》

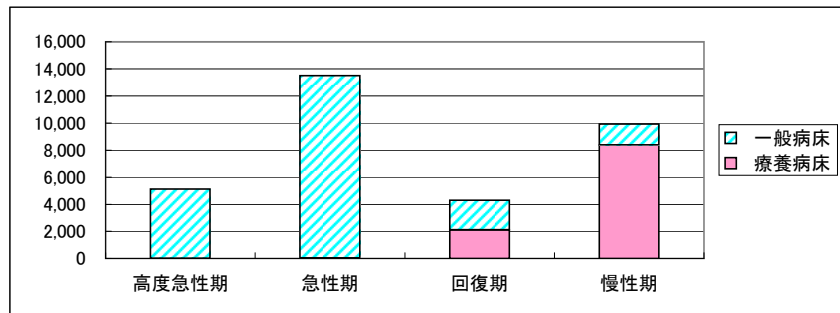


（単位：床、％）

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	4,917	13,575	1,876	1,575	21,943
療養病床	0	15	1,928	8,583	10,526
合計	4,917	13,590	3,804	10,158	32,469
構成比	15.1%	41.9%	11.7%	31.3%	100.0%

（注）集計対象33,614床のうち、休棟等により医療機能について未選択の病床が1,145床分あり、上表には含めていない。

《6年が経過した日（2022（平成34）年）における医療機能別の病床数（許可病床）》



（単位：床、％）

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	5,129	13,465	2,190	1,570	22,354
療養病床	0	32	2,112	8,358	10,502
合計	5,129	13,497	4,302	9,928	32,856
構成比	15.6%	41.1%	13.1%	30.2%	100.0%

（注）集計対象33,614床のうち、休棟等により医療機能について未選択の病床が758床分あり、上表には含めていない。

許可病床ベース

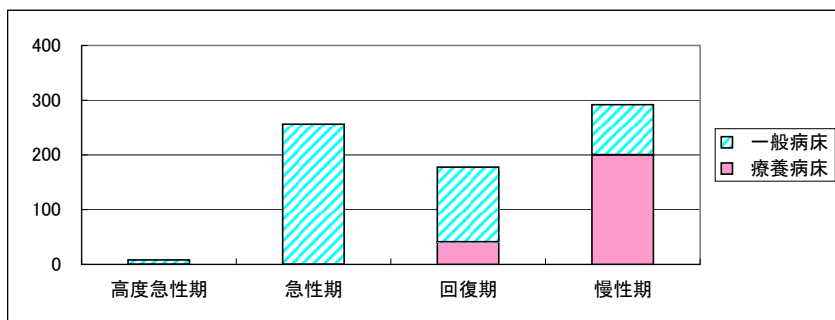
病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果（賀茂医療圏）】

○以下の集計は、報告があった医療機関のうち、各集計項目に不備がなかった医療機関を対象として実施。

- ・報告対象となる10施設（病院6施設、有床診療所4施設）のうち、10施設(100.0%)(病院6施設(100.0%)、有床診療所4施設(100.0%))が報告済み。
- ・報告対象施設における許可病床数合計は、879床（病院843床、診療所36床、平成28年4月1日現在）
- ・平成28年度の報告においては、「定性的」な基準に基づき、各医療機関が自主的に選択した医療機能を報告したものであることから、同じ医療機能を有していても、各医療機関の捉え方によっては同様の報告となっていない場合がある。
- ・6年後、高度急性期、慢性期の構成比が減少し、急性期、回復期の構成比が増加

※報告のあった10施設（病院6施設、有床診療所4施設）の許可病床821床について集計したもの

《2016(平成28)年7月1日時点の医療機能別の病床数(許可病床)》

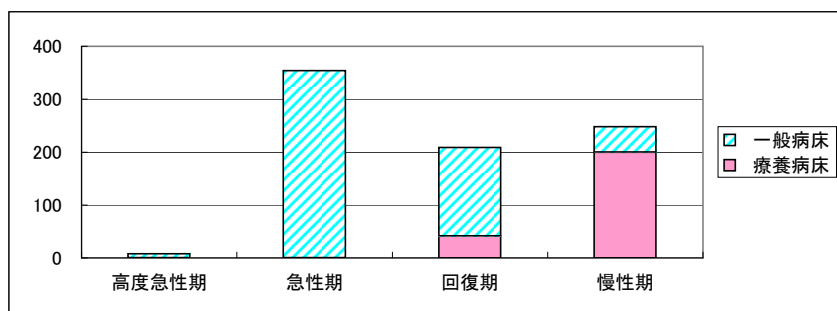


(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	8	256	137	92	493
療養病床	0	0	41	200	241
合計	8	256	178	292	734
構成比	1.1%	34.9%	24.3%	39.8%	100.0%

(注)集計対象821床のうち、休棟等により現時点の医療機能について未選択の病床が87床分あり、上表には含めていない。

《6年が経過した日(2022(平成34)年)における医療機能別の病床数(許可病床)》



(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	8	354	168	48	578
療養病床	0	0	41	200	241
合計	8	354	209	248	819
構成比	1.0%	43.2%	25.5%	30.3%	100.0%

(注)集計対象821床のうち、休棟等により現時点の医療機能について未選択の病床が2床分あり、上表には含めていない。

許可病床ベース

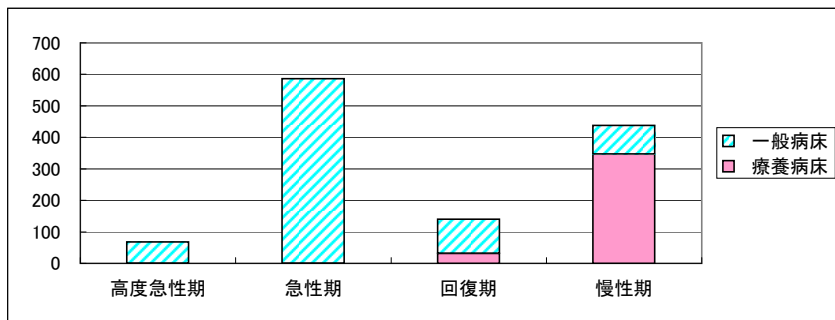
病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果（熱海伊東医療圏）】

○以下の集計は、報告があった医療機関のうち、各集計項目に不備がなかった医療機関を対象として実施。

- ・報告対象となる20施設（病院8施設、有床診療所12施設）のうち、20施設(100.0%)（病院8施設(100.0%)、有床診療所12施設(100.0%))が報告済み。
- ・報告対象施設における許可病床数合計は、1,331床（病院1,129床、診療所202床、平成28年4月1日現在）
- ・平成28年度の報告においては、「定性的」な基準に基づき、各医療機関が自主的に選択した医療機能を報告したものであることから、同じ医療機能を有していても、各医療機関の捉え方によっては同様の報告となっていない場合がある。
- ・6年後、高度急性期、回復期、慢性期の構成比が減少し、急性期の構成比が増加

※報告のあった20施設（病院8施設、有床診療所12施設）の許可病床1,236床について集計したもの

《2016（平成28）年7月1日時点の医療機能別の病床数（許可病床）》

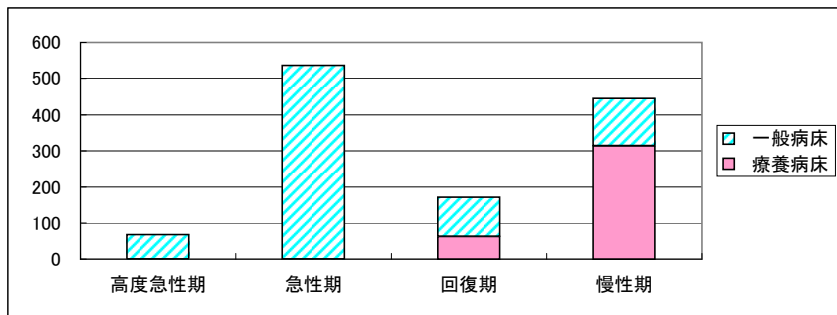


(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	68	586	109	92	855
療養病床	0	0	31	346	377
合計	68	586	140	438	1,232
構成比	5.5%	47.6%	11.4%	35.6%	100.0%

(注)集計対象1,236のうち、休棟等により現時点の医療機能について未選択の病床が4床分あり、上表には含めていない。

《6年が経過した日（2022（平成34）年）における医療機能別の病床数（許可病床）》



(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	68	536	109	132	845
療養病床	0	0	63	314	377
合計	68	536	172	446	1,222
構成比	5.6%	43.9%	14.1%	36.5%	100.0%

(注)集計対象1,236のうち、休棟等により現時点の医療機能について未選択の病床が14床分あり、上表には含めていない。

許可病床ベース

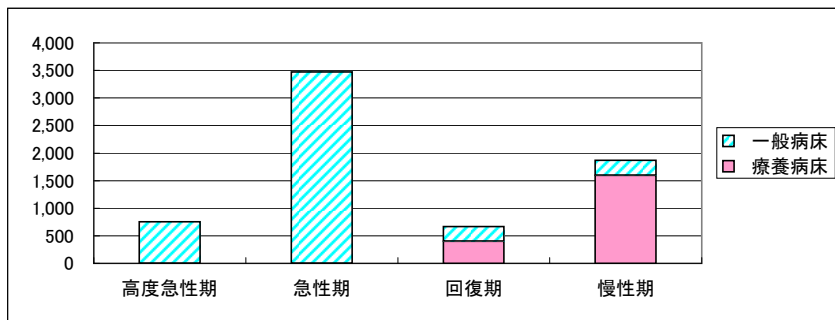
病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果（駿東田方医療圏）】

○以下の集計は、報告があった医療機関のうち、各集計項目に不備がなかった医療機関を対象として実施。

- ・報告対象となる90施設（病院43施設、有床診療所47施設）のうち、89施設(98.9%)（病院43施設(100.0%)、有床診療所46施設(97.9%))が報告済み。
- ・報告対象施設における許可病床数合計は、7,354床（病院6,784床、診療所570床、平成28年4月1日現在）
- ・平成28年度の報告においては、「定性的」な基準に基づき、各医療機関が自主的に選択した医療機能を報告したものであることから、同じ医療機能を有していても、各医療機関の捉え方によっては同様の報告となっていない場合がある。
- ・6年後、高度急性期、急性期の構成比が減少し、回復期、慢性期の構成比が増加

※報告のあった89施設（病院43施設、有床診療所46施設）の許可病床7,001床について集計したもの

《2016(平成28)年7月1日時点の医療機能別の病床数(許可病床)》

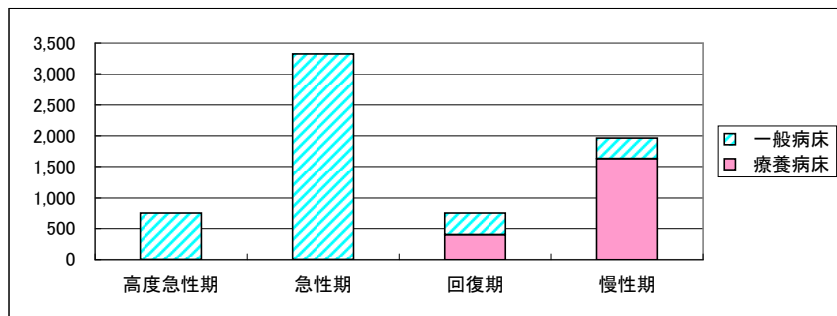


(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	755	3,473	268	276	4,772
療養病床	0	0	401	1,596	1,997
合計	755	3,473	669	1,872	6,769
構成比	11.2%	51.3%	9.9%	27.7%	100.0%

(注)集計対象7,001床のうち、休棟等により現時点の医療機能について未選択の病床が232床分あり、上表には含めていない。

《6年が経過した日(2022(平成34)年)における医療機能別の病床数(許可病床)》



(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	755	3,326	353	336	4,770
療養病床	0	0	401	1,631	2,032
合計	755	3,326	754	1,967	6,802
構成比	11.1%	48.9%	11.1%	28.9%	100.0%

(注)集計対象7,001床のうち、休棟等により現時点の医療機能について未選択の病床が199床分あり、上表には含めていない。

許可病床ベース

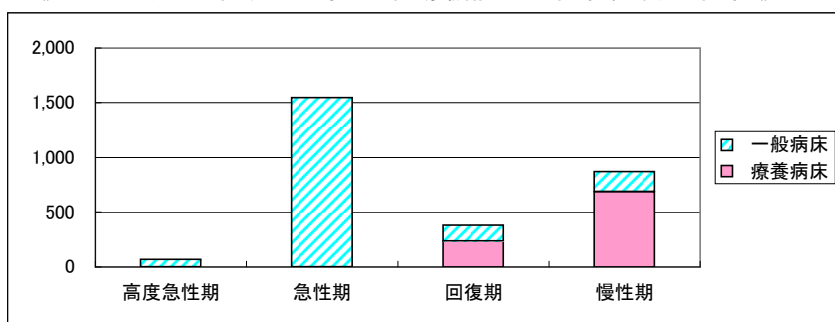
病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果（富士医療圏）】

○以下の集計は、報告があった医療機関のうち、各集計項目に不備がなかった医療機関を対象として実施。

- ・報告対象となる39施設（病院14施設、有床診療所25施設）のうち、39施設(100.0%)（病院14施設(100.0%)、有床診療所25施設(100.0%)）が報告済み。
- ・報告対象施設における許可病床数合計は、3,020床（病院2,701床、診療所319床、平成28年4月1日現在）
- ・平成28年度の報告においては、「定性的」な基準に基づき、各医療機関が自主的に選択した医療機能を報告したものであることから、同じ医療機能を有していても、各医療機関の捉え方によっては同様の報告となっていない場合がある。
- ・6年後、慢性期の構成比が減少し、高度急性期、急性期、回復期の構成比が増加

※報告のあった39施設（病院14施設、有床診療所25施設）の許可病床2,979床について集計したもの

《2016（平成28）年7月1日時点の医療機能別の病床数（許可病床）》

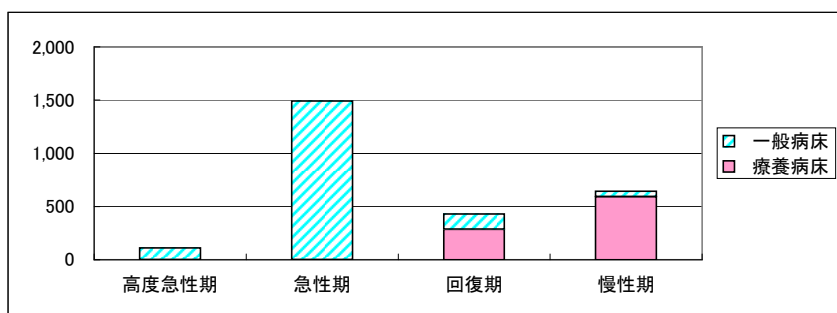


(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	70	1,546	145	182	1,943
療養病床	0	0	237	688	925
合計	70	1,546	382	870	2,868
構成比	2.4%	53.9%	13.3%	30.3%	100.0%

(注)集計対象2,979床のうち、休棟等により現時点の医療機能について未選択の病床が111床分あり、上表には含めていない。

《6年が経過した日（2022（平成34）年）における医療機能別の病床数（許可病床）》



(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	112	1,493	145	52	1,802
療養病床	0	0	286	591	877
合計	112	1,493	431	643	2,679
構成比	4.2%	55.7%	16.1%	24.0%	100.0%

(注)集計対象2,979床のうち、休棟等により現時点の医療機能について未選択の病床が300床分あり、上表には含めていない。



許可病床ベース

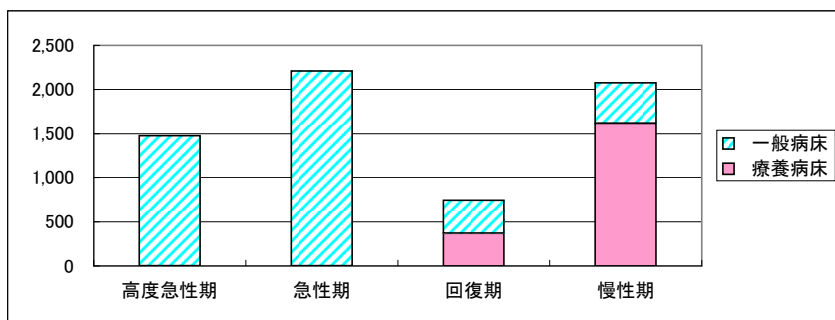
病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果（静岡医療圏）】

○以下の集計は、報告があった医療機関のうち、各集計項目に不備がなかった医療機関を対象として実施。

- ・報告対象となる51施設（病院24施設、有床診療所27施設）のうち、51施設(100.0%)（病院24施設(100.0%)、有床診療所27施設(100.0%)）が報告済み。
- ・報告対象施設における許可病床数合計は、6,878床（病院6,597床、診療所281床、平成28年4月1日現在）
- ・平成28年度の報告においては、「定性的」な基準に基づき、各医療機関が自主的に選択した医療機能を報告したものであることから、同じ医療機能を有していても、各医療機関の捉え方によっては同様の報告となっていない場合がある。
- ・6年後、慢性期の構成比が減少し、高度急性期、急性期、回復期の構成比が増加

※報告のあった51施設（病院24施設、有床診療所27施設）の許可病床6,747床について集計したもの

《2016（平成28）年7月1日時点の医療機能別の病床数（許可病床）》

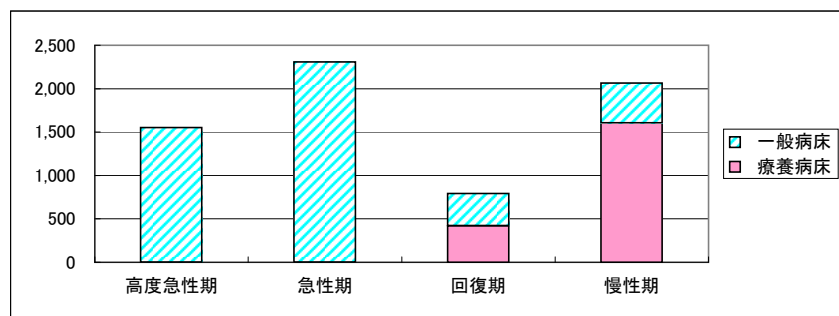


(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	1,477	2,211	372	461	4,521
療養病床	0	0	371	1,613	1,984
合計	1,477	2,211	743	2,074	6,505
構成比	22.7%	34.0%	11.4%	31.9%	100.0%

(注)集計対象6,747床のうち、休棟等により現時点の医療機能について未選択の病床が242床分あり、上表には含めていない。

《6年が経過した日（2022（平成34）年）における医療機能別の病床数（許可病床）》



(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	1,554	2,310	372	461	4,697
療養病床	0	0	421	1,604	2,025
合計	1,554	2,310	793	2,065	6,722
構成比	23.1%	34.4%	11.8%	30.7%	100.0%

(注)集計対象6,747床のうち、休棟等により現時点の医療機能について未選択の病床が25床分あり、上表には含めていない。



許可病床ベース

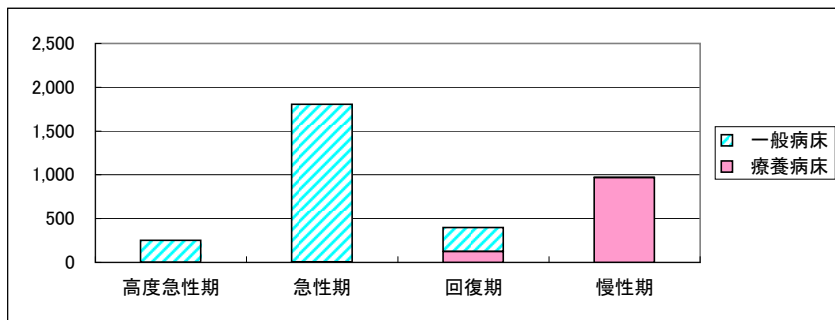
病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果（志太榛原医療圏）】

○以下の集計は、報告があった医療機関のうち、各集計項目に不備がなかった医療機関を対象として実施。

- ・報告対象となる27施設（病院11施設、有床診療所16施設）のうち、27施設(100.0%)(病院11施設(100.0%)、有床診療所16施設(100.0%))が報告済み。
- ・報告対象施設における許可病床数合計は、3,636床（病院3,470床、診療所166床、平成28年4月1日現在）
- ・平成28年度の報告においては、「定性的」な基準に基づき、各医療機関が自主的に選択した医療機能を報告したものであることから、同じ医療機能を有していても、各医療機関の捉え方によっては同様の報告となっていない場合がある。
- ・6年後、高度急性期、急性期、慢性期の構成比が減少し、回復期の構成比が増加

※報告のあった27施設（病院11施設、有床診療所16施設）の許可病床3,630床について集計したもの

《2016（平成28）年7月1日時点の医療機能別の病床数（許可病床）》

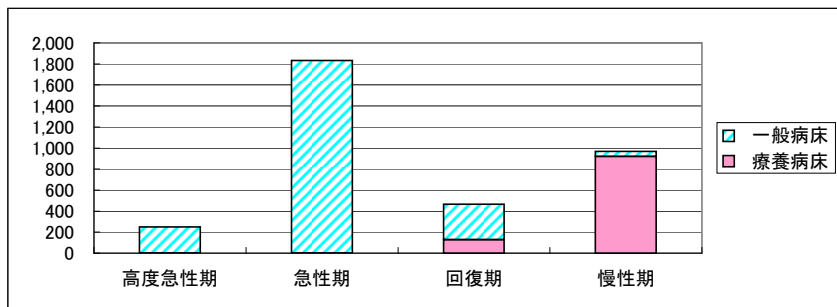


(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	251	1,801	274	1	2,327
療養病床	0	3	125	970	1,098
合計	251	1,804	399	971	3,425
構成比	7.3%	52.7%	11.6%	28.4%	100.0%

(注)集計対象3,630床のうち、休棟等により現時点の医療機能について未選択の病床が205床分あり、上表には含めていない。

《6年が経過した日（2022（平成34）年）における医療機能別の病床数（許可病床）》



(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	251	1,833	337	51	2,472
療養病床	0	0	128	918	1,046
合計	251	1,833	465	969	3,518
構成比	7.1%	52.1%	13.2%	27.5%	100.0%

(注)集計対象3,630床のうち、休棟等により現時点の医療機能について未選択の病床が112床分あり、上表には含めていない。

許可病床ベース

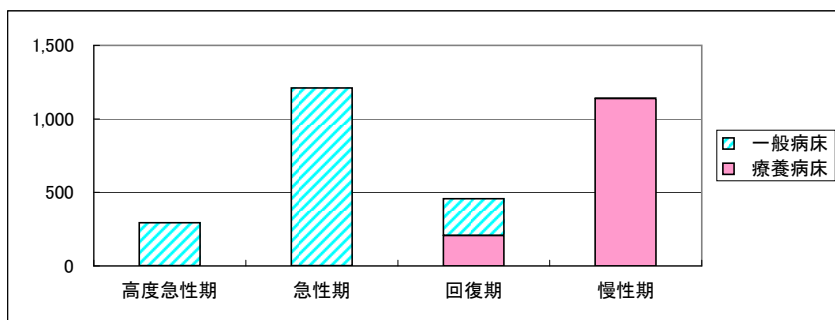
病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果（中東遠医療圏）】

○以下の集計は、報告があった医療機関のうち、各集計項目に不備がなかった医療機関を対象として実施。

- ・報告対象となる31施設（病院14施設、有床診療所17施設）のうち、31施設(100.0%)（病院14施設(100.0%)、有床診療所17施設(100.0%)）が報告済み。
- ・報告対象施設における許可病床数合計は、3,177床（病院2,966床、診療所211床、平成28年4月1日現在）
- ・平成28年度の報告においては、「定性的」な基準に基づき、各医療機関が自主的に選択した医療機能を報告したものであることから、同じ医療機能を有していても、各医療機関の捉え方によっては同様の報告となっていない場合がある。
- ・6年後、急性期、慢性期の構成比が減少し、高度急性期、回復期の構成比が増加

※報告のあった31施設（病院14施設、有床診療所17施設）の許可病床3,131床について集計したもの

《2016（平成28）年7月1日時点の医療機能別の病床数（許可病床）》

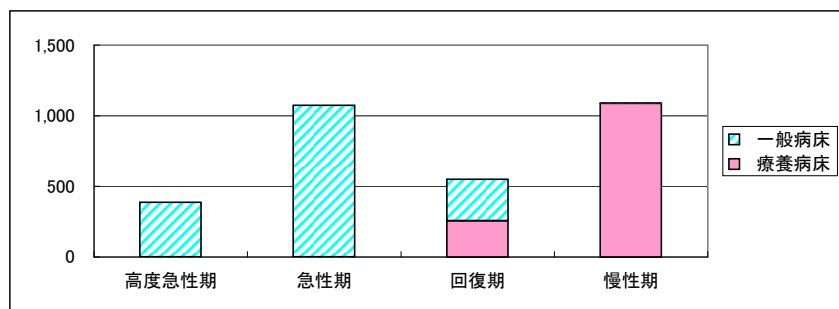


(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	294	1,210	251	2	1,757
療養病床	0	0	206	1,138	1,344
合計	294	1,210	457	1,140	3,101
構成比	9.5%	39.0%	14.7%	36.8%	100.0%

(注)集計対象3,131床のうち、休棟等により現時点の医療機能について未選択の病床が30床分あり、上表には含めていない。

《6年が経過した日（2022（平成34）年）における医療機能別の病床数（許可病床）》



(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	387	1,073	295	2	1,757
療養病床	0	0	256	1,088	1,344
合計	387	1,073	551	1,090	3,101
構成比	12.5%	34.6%	17.8%	35.1%	100.0%

(注)集計対象3,131床のうち、休棟等により現時点の医療機能について未選択の病床が30床分あり、上表には含めていない。

許可病床ベース

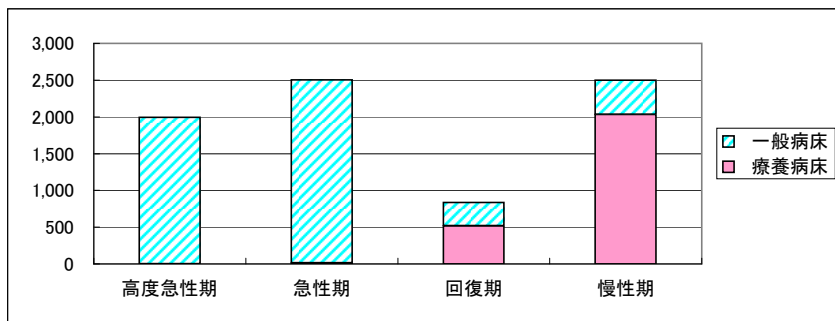
病床機能報告制度における機能別病床数の報告状況【集計結果（西部医療圏）】

○以下の集計は、報告があった医療機関のうち、各集計項目に不備がなかった医療機関を対象として実施。

- ・報告対象となる74施設（病院30施設、有床診療所44施設）のうち、72施設(97.3%)(病院30施設(100.0%)、有床診療所42施設(95.5%))が報告済み。
- ・報告対象施設における許可病床数合計は、8,102床(病院7,592床、診療所510床、平成28年4月1日現在)
- ・平成28年度の報告においては、「定性的」な基準に基づき、各医療機関が自主的に選択した医療機能を報告したものであることから、同じ医療機能を有していても、各医療機関の捉え方によっては同様の報告となっていない場合がある。
- ・6年後、高度急性期、慢性期の構成比が減少し、急性期、回復期の構成比が増加

※報告のあった74施設(病院30施設、有床診療所42施設)の許可病床8,069床について集計したもの

《2016(平成28)年7月1日時点の医療機能別の病床数(許可病床)》

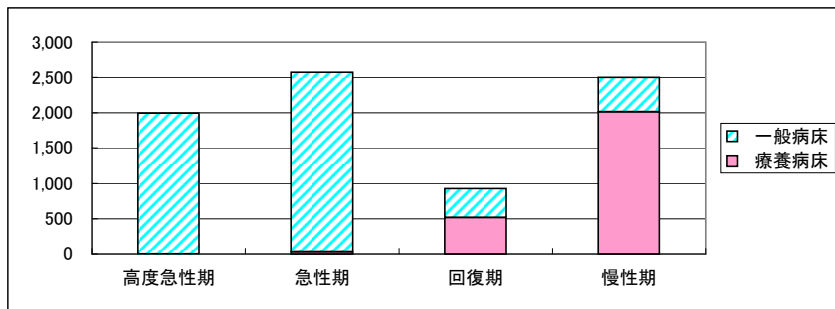


(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	1,994	2,492	320	469	5,275
療養病床	0	12	516	2,032	2,560
合計	1,994	2,504	836	2,501	7,835
構成比	25.4%	32.0%	10.7%	31.9%	100.0%

(注)集計対象8,069床のうち、休棟等により現時点の医療機能について未選択の病床が234床分あり、上表には含めていない。

《6年が経過した日(2022(平成34)年)における医療機能別の病床数(許可病床)》



(単位:床、%)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
一般病床	1,994	2,540	411	488	5,433
療養病床	0	32	516	2,012	2,560
合計	1,994	2,572	927	2,500	7,993
構成比	24.9%	32.2%	11.6%	31.3%	100.0%

(注)集計対象8,069床のうち、休棟等により現時点の医療機能について未選択の病床が76床分あり、上表には含めていない。